



CP500X

POWER AMP

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

ご使用前に

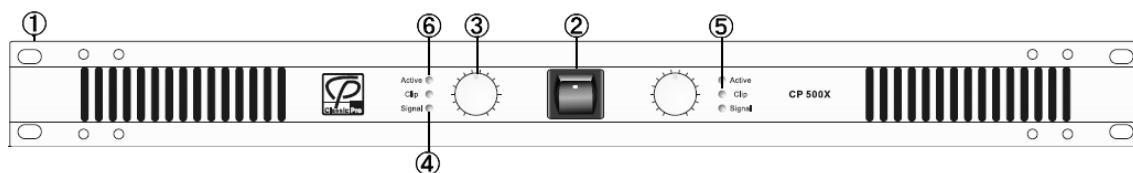
1. この取扱説明書に従って操作してください。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう十分ご注意ください。
3. 内部には精密な電子部品が多数使用されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにしてください。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所でご使用ください。
5. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz でご使用ください。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意ください。
7. クリーニングをする際は電源コードを抜いてから、乾いた布でふき取るようにしてください。
8. 長時間使用しない場合は電源コードをコンセントから抜いてください。

故障や感電事故を防止すると共に、本来の性能を維持する為にも、本体を開けて触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

特徴

- ・ 低ノイズ、ディスクリット・リニア・デザイン
- ・ ステレオ 150W+150W 8Ω、250W+250W 4Ω、ブリッジ 500W 4Ω
- ・ 冷却効率の良い大型ヒートシンク
- ・ 軽量、省電力を実現し、熱を最小限に抑えるスイッチング電源
- ・ シグナル、クリップ、アクティブ・インジケーターによりアンプの状態が一目瞭然
- ・ バランス XLR, TRS フォン入力
- ・ バインディングポストスピーカー出力
- ・ ステレオ/ブリッジモード切替可能
- ・ 静かな場所での使用に適したファンレス仕様
- ・ 省スペースに設置可能な 1U デザイン
- ・ ショートサーキット保護回路、熱保護回路、過大電流、高電圧保護回路

フロントパネル



1. マウンティング

19 インチラックにマウント可能です。背面サポートブラケットは必要ありません。

2. 電源スイッチ

電源を入れる前にレベルが最小であることを確認してください。また電源ケーブルが AC 電源に接続されているか確認してください。

3. レベルコントロール

出力レベルを調整します。

4. シグナル・インジケータ

SIGNAL LED は、スピーカーへ信号が送られている時に点灯します。

※約 2.2dB で点灯します。

5. クリップ・インジケータ

各チャンネルへの信号がオーバーロードしてクリッピングが発生すると、CLIP インジケータが点灯します。

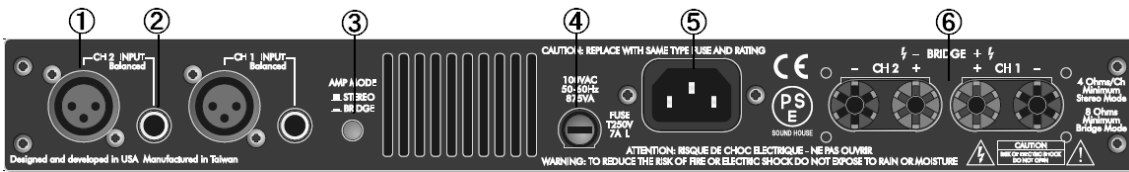
※約 30dB で点灯します。

このままの状態では音声信号が歪んでしまいますので、接続しているミキサー等の機材の出力レベルを下げ、過大入力を防いでください。

6. アクティブ・インジケータ

パワーアンプをオンにした際、各種保護回路をチェックする間の数秒程まず赤色に点灯します。その後、通常のオペレーティングモードに入ると青色に点灯し、パワーアンプが使用できる状態になっていることを表示します。このアクティブ・インジケータは、プロテクト回路が出力ショートや DC 漏れを検知した際、赤色に点灯します。赤色のまま点灯し、青色に変わらない場合はサービスセンターにお問い合わせください。

リア・パネル



7. XLR 入力

XLR 入力はバランス、アンバランスの入力信号に対応しています。

ピン 1 : ground、ピン 2 : +、ピン 3 : -

8. 1/4TRS フォン入力

1/4TRS フォン入力はバランス、アンバランスの入力信号に対応しています。

Tip : +、Ring : -、Sleeve : ground

9. ステレオ/ブリッジ切替スイッチ

このスイッチでステレオ、またはモノラル・ブリッジモードの切り替えを行います。

ハイパワーのモノラル出力アンプが必要な場合、ブリッジモードを使用します。

アンプの電源を切り、赤色バイインディングポスト (CH1 +、CH2 +) にスピーカーを接続後に BRIDGE スイッチを押してください。入力レベルは CH1 で調整します。CH2 は使用しません。ブリッジモードの最小インピーダンスは 8Ω です。

10. ヒューズ

必ず指定規格のヒューズをご使用ください。

11. AC 電源

100V 50/60Hz で動作します。

12. バインディングポストスピーカー出力

バナナプラグ、またはケーブル線を接続します。ブリッジ接続で使用する場合は中心にある 2 個の赤色バイインディングポストを使用してください。

オペレーティング

1. ステレオ・モード

まず音源ソースの入力端子をアンプのチャンネル1、およびチャンネル2に接続してください。次にアンプ背面にある出力端子にスピーカーを接続します。この時、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールが最小レベルまで下げられているのを確認してください（最も左回りの状態）。アンプの電源を入れます。次に入力ソースの出力レベルを上げます。出力音量を調節するには、フロントパネル上にあるゲイン・コントロールを使います。出力音量は、クリッピングが発生しない程度に上げてください。ただし、クリップ信号が時々点灯する程度であれば OK です。

2. モノラル・ブリッジ・モード

アンプを含めすべての音響機材の電源が OFF であることを確認してください。ステレオ/モノラル・ブリッジ・スイッチをモノラル・ブリッジに切替えます。次に入力信号をチャンネル1に接続してください。次にアンプ背面に配置された、赤い出力バインディング・ポストの端子にスピーカーを接続します。ここで音響機材の電源を ON にしてください（アンプの電源は最後に入れるようにしてください）。アンプに入力ソースの信号を送信します。アンプの出力レベルを調節するには、チャンネル1のゲインを操作してください。

モノラル・ブリッジ・モードで使用した場合、出力端子の電圧は全体で 100V 以上に達し、場合により、それ以上に高電圧になることもあります。よって配線は、完全に絶縁されたスピーカーケーブルを使ってください。またスピーカーのインピーダンスは 8Ω 以上になるようにしてください。

セットアップ

1. 入力端子

CP500X は1チャンネルにつき、2種類の入力コネクタが装備されています。XLR 端子はバランス仕様対応です。TRS フォン端子はバランス/アンバランス・コネクタの両方に対応しています。これらの接続端子を使い、ミキサーやチャンネルデバイダー等の出力端子を入力端子に接続します。5メートルを超えるケーブルを使用する場合、バランス仕様による接続をお勧めします。5メートル以内のケーブルの場合、アンバランス仕様のフォン端子も使用できます。既成のケーブルが多数出回っている為、アンバランス仕様のフォン入力の手軽な接続方法ともいえます。またそれぞれの端子は並列接続になっておりますので、片方を入力、もう片方を出力用の端子として使用する事ができます。

使用例：XLR ケーブルをチャンネル1入力に接続します。チャンネル1フォン入力端子に接続したケーブルを、他のアンプのチャンネル1入力端子に繋いでパラレル接続をすることができます。

図 3
Male XLR Pin Configuration:
US ITT Standard

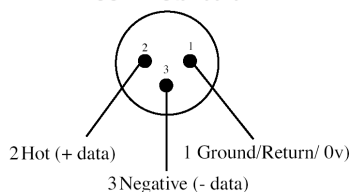


図 4
Balanced TRS 1/4" Plug

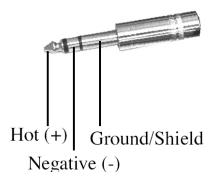
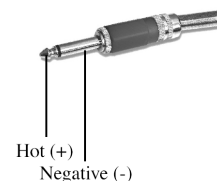


図 5
Unbalanced TS 1/4" Plug



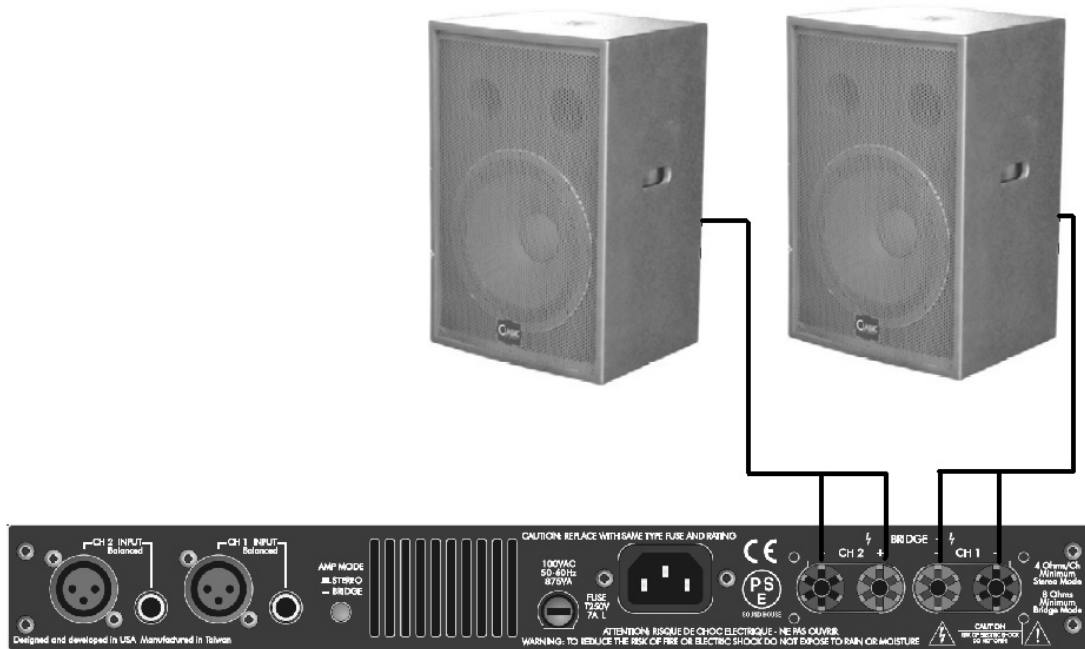
2. 出力端子

・5WAY バインディング・ポスト/バナナプラグ

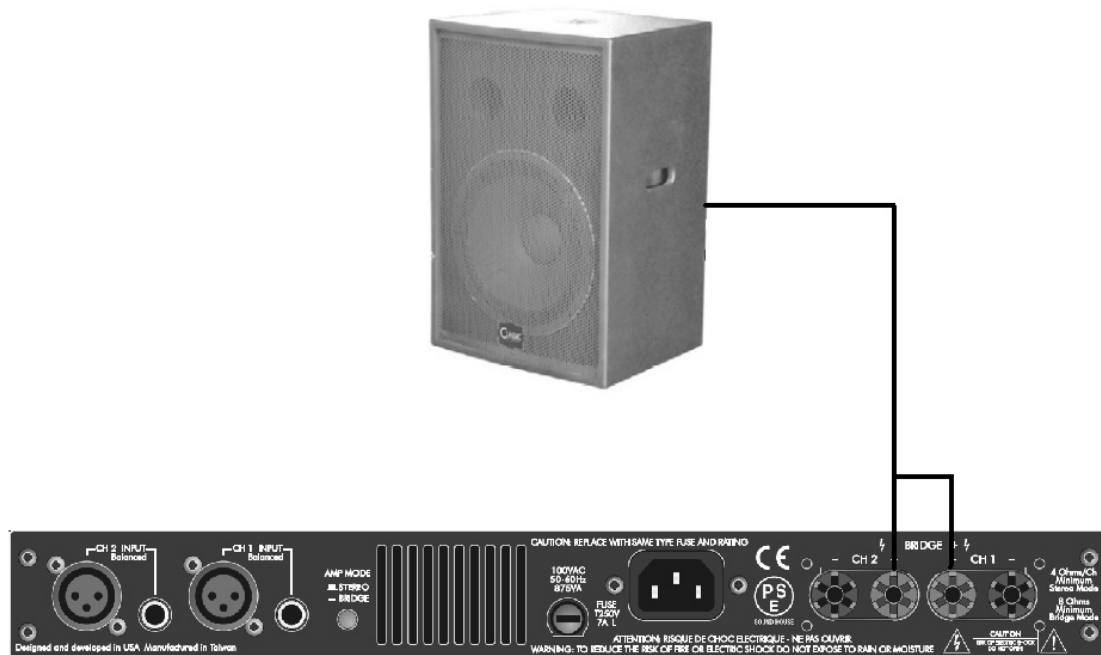
アンプ背面にあるバインディング・ポスト出力端子に、スピーカーを接続します。ステレオ、パラレルモードの場合、チャンネル1およびチャンネル2出力端子に接続します。

モノラル・ブリッジ・モードの場合、チャンネル1およびチャンネル2の赤ターミナル双方に接続してください。スピーカーケーブルのマイナス・リードをアンプ バインディング・ポストの黒端子に、プラス・リードを赤端子に接続するようにしてください。正しい極性設定はスピーカーの位相不一致を防ぎ、結果として低音が損なわれることを防止します。

■ PA システムにおけるステレオ・セットアップ例



■ PA スピーカーを使用したモノラル・ブリッジ接続例



製品スペック

アンプ出力

ステレオ

8Ω, 1kHz, 1% THD 150W+150W

4Ω, 1kHz, 1% THD 250+250W

ブリッジモノ

8Ω, 1kHz, 1% THD 500W

入力感度 0.775V

THD <0.03%

周波数特性 20Hz~20kHz、±1dB

クロストーク >60dBV

ダンピングファクター >400

入力インピーダンス > 20kΩ:バランス、10kΩ:アンバランス

ダンピングファクター >400

SN比>100dB

消費電力: 288W

ヒューズ: 7A

出力回路: クラス D

保護回路: DC 保護、ショートサーキット、オーバーロード保護、熱保護

電源 100V 50/60Hz

寸法 48.3x4.4x24.0 cm

重量 4.6kg

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不適當（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。